

第36回 中国地区野球大会 in Hiroshima

大会実施要綱



2007年 8月

主催：社団法人 広島青年会議所

第36回 中国地区野球大会 in Hiroshima 大会実施要綱

1) 日程および場所

2007年 9月 1日(土)		場 所
17:00～18:00	監督・主将会議	リーガロイヤルホテル広島
18:15～20:15	開会式・前夜祭	リーガロイヤルホテル広島

2007年 9月 2日(日)		
7:40～8:00	集 合	各球場
8:30～	試合開始	各球場
15:30～	決勝戦(時間無制限)	A 球場
17:30～	閉会式	

閉会式終了後解散

2) 使用会場

球 場	住 所
A 球場	広島県総合グランド(野球場) 広島市西区観音新町2-11-124
B 球場	草津球場 広島市西区庚午南2丁目38番地
C 球場	三菱重工(株)観音グランド 広島市西区観音新町4-6
D 球場	三菱重工(株)観音グランド 広島市西区観音新町4-6

雨天時

広島パークレーンにてボーリング大会を開催

3) 競技内容

各県(各ブロック)の野球大会において優勝、準優勝、3位の成績のチームと前年度優勝チーム(岡山JC)、開催地チーム(広島JC)の計16チームにてトーナメントを行う。今大会の優勝チームは、9月28日から帯広にて開催される全国大会に出場することができる

2007年度「公認軟式野球規則」に準拠する

第36回 中国地区野球大会 in Hiroshima 大会実施要綱

4) 出場チーム

16チーム

岡山ブロック代表	3チーム
山口ブロック代表	3チーム
島根ブロック代表	3チーム
鳥取ブロック代表	2チーム
広島ブロック代表	3チーム
招待	前年度優勝(岡山JC)
	主催LOM(広島JC)

5) 雨天の場合

小雨は決行します。(但しグラウンド管理者の許可が必要)
開催不可能な場合は大会関係者話し合いにて中止を決定。(当日7:30予定)
尚、雨天時の場合についての競技(対応)は現在協議・検討中です。
後日ご連絡いたします。

6) 入浴施設

試合終了後の入浴を希望される方には、広島JCの各担当者よりご案内いたします。尚、清算については各自でお願い致します。

第36回 中国地区野球大会 in Hiroshima 競技上の注意

選手集合時間

各試合開始20分前までに球場に集合すること。

オーダー表の記入と提出

各試合、試合開始予定時間の15分前に監督・キャプテン会議で配布されたオーダー表に必要事項を記入し、選手名には必ず「ふりがな」を付けてキャプテンが持参し、各球場の大会実行委員会に提出すること。（提出部数は3部）

先攻・後攻の決定

上記 項を実行する際に両チームキャプテンにより「じゃんけん」を行い決定する。
ただし、その際大会実行委員会、立会いで行うこと。

選手席

- A：ベンチは組み合わせの左のチームを一塁側とする。
- B：試合中は登録選手・監督・マネージャー以外のベンチへの立ち入りを禁止する。
- C：試合中はベンチ及びグラウンドでの喫煙・飲食を禁止する。（喫煙は指定された場所のみとする）
- D：大会中、ベンチ内外に限らずテープ・紙吹雪等の散乱する物の使用はご遠慮ください。
- E：大会中のゴミは所定の袋に分別し、所定の場所まで運んでください。

用具の確認

- A：軟式野球の規格（JSBB）以外の用具は使用しない。
（雷時に備えるため木製バットを必ず一本ご用意ください。）
- B：ヘルメットは各チームで規格・損傷の有無を確認し、不適合の物は使用を認めない。

攻守交代・選手交代

- A：すべて駆け足で敏速に交代を行う。
- B：選手交代は必ず監督が主審に申し出ること。

抗議

抗議は監督・キャプテンに限る。但し、審判の判定に対する抗議は一切認めない。

雨天時の連絡

- A：野球の試合が不可能な場合、大会本部から各チームに連絡する。（7:30予定）
- B：小雨は決行とし、連絡のない場合は予定通り各球場に集合すること。

その他

- A：過ぎたる応援を行う者に対しては審判の判断により退場を言い渡す。
- B：敗戦チームは試合終了後グラウンド整備をすること。
- C：敗戦チームは自由解散となるが大会担当者の指示に従うこと。

第36回 中国地区野球大会 in Hiroshima 大会ルール

選手登録

出場できる選手は出場チームのLOMの正会員で選手登録をした者に限る。
但し、出場チームLOM内のOB直前地区会長、OB直前ブロック会長、OB直前理事長は選手登録の資格を有する。

試合形式及び試合時間

試合形式はトーナメント方式をとり、3位決定戦を行う。
試合は1回戦から準決勝戦を7イニングもしくは70分とする。
(各試合時間は主審のプレーボール宣言を行った時間からタイムキーパーが計測し、3アウトのコールまでとする。70分を越えて新しいイニングには入らない。)
決勝戦は7イニングとし時間制限は設けない。
全試合、コールドゲーム制は採用しない。

同点の場合

決勝戦以外は延長を行わず、各チーム9人の「じゃんけん」により勝敗を決定する。
(最後のイニングに出場していた9人で行う)
決勝戦は1アウト満塁の状況で1回の表裏のみ行い勝敗を決定する。
但し、この場合は前回の最終打者が1塁走者、その前の打者が2塁走者、そしてその前の打者が3塁走者、そして当イニングの先頭打者が打席に入る。
それでも決定しない場合は各チーム9人による「じゃんけん」とする。

理事長の出場

各試合とも理事長を1番打者として、1回表裏の攻守に出場すること。
(理事長の守備位置は、先発投手とし、投手責任は第一打者を含む一人以上とする。)
やむを得ない理由で理事長が出場不可能な場合は副理事長または直前理事長の代行を認める。
但し、その旨を大会本部に届け判断を仰ぐこととする。

DH制と投手交代

DH制は採用しない。
全試合、同一投手の投球回数を1試合につき通算9アウト以内とする。
但し、併殺などで通算10アウトになった場合はそれを認める。
投手交代時の投球は全て5球とし、攻守交替時は3球とする。

ユニホームとスパイク

ユニホームは統一したものとし、帽子・スパイクを着用すること。
また各チームとも打者・走者・次打者はヘルメットを着用し、捕手はレガース・マスク・ヘルメットを着用すること。
(金具付きとセラミック製のスパイクは事故防止の為、使用を禁止する。)
(捕手はプロテクターの着用を事故防止の為、推奨する。)

その他のルール

その他のルールは2007年度軟式野球連盟規則を適用し、審判の指示に従うこと。
その他、各球場毎に特別ルールを設ける場合は審判員より試合前に説明する。

全国大会出場権

今大会の優勝チームは全国会員大会帯広大会で行われる全国野球大会の出場権を得る。

試合時間の注意

各試合時間は原則としてロスタイムは無しとするが、悪天候・ケガ等により、中断を余儀なくされる場合に遭遇した場合は、審判団・両チーム監督・大会実行委員会の協議により中断を決定し、時計を止める旨を実行委員会は宣言し、再開時には中断時間の発表と残り試合時間を宣言するものとする。

第36回 中国地区野球大会 in Hiroshima 出場チーム

岡山ブロック協議会 【ブロック成績】

優勝	岡山青年会議所
準優勝	倉敷青年会議所
3位	備前青年会議所
4位	井原青年会議所

山口ブロック協議会 【ブロック成績】

優勝	宇部青年会議所
準優勝	長門青年会議所
3位	萩青年会議所

島根ブロック協議会 【ブロック成績】

優勝	出雲青年会議所
準優勝	浜田青年会議所
3位	江津青年会議所

鳥取ブロック協議会 【ブロック成績】

優勝	鳥取青年会議所
準優勝	境港青年会議所

広島ブロック協議会 【ブロック成績】

優勝	庄原青年会議所
準優勝	福山青年会議所
3位	広島青年会議所
4位	呉青年会議所

招待チーム

前年度優勝チーム	岡山青年会議所
主催LOM	広島青年会議所

岡山ブロックは、本大会前年度優勝チームと本年度ブロック優勝チームが同じため、4位まで出場可とします。
また広島ブロックは、主催LOMが3位のためブロック4位まで出場可とします。



第36回 中国地区野球大会 in Hiroshima 大会トーナメント



A 球場：広島県総合グランド(野球場)
 B 球場；草津球場
 C 球場；三菱重工(株)観音グランド
 D 球場；三菱重工(株)観音グランド
 (バス通り側)

組合せ表の左側が一塁側ベンチ

